

# 平成24(2012)年度 校内研究推進構想

高知県四万十市立中村南小学校

## 1. 研究主題

自己をみつめ 関わりながら きらり輝く心をもつ子どもの育成

～道徳授業と道徳的実践の指導の充実を通して～

## 2. 主題設定の理由

本校では、平成22年度から3年間、高知県教育委員会の「道徳教育重点推進校事業」の指定を受け道徳教育を中心に研究実践に取り組んでおり、今年度は指定3年目のまとめの年である。

今年度の校内研究は、昨年度までの研究実践をより進化・発展させるとともに、集約・整理していく必要がある。そこで、昨年度からの研究主題及び副題である「自己をみつめ きらり輝く心をもつ子どもの育成～道徳授業と道徳的実践活動の充実を通して～」を今年度も引き続き主題として設定し、昨年度からの関心・意欲を今年度につなげながら校内研究を進めていくこととした。

「自己をみつめる」とは、「自分自身を知る」ことであり、また「自分自身を考える」ことだと捉えている。すなわち、自分自身の内面をみつめることで、自分のよさや課題、これまでの経験や生き方、考え方を自覚し、自分がかげがえのない存在であるということに考えをめぐらせ、気づいていくと考える。そのためには、道徳的価値の理解〔道徳的価値は大切であること(価値理解)、道徳的価値は大切であるが実現は難しいこと(人間理解)、道徳的価値の実現に向けては多様な感じ方・考え方が存在すること(他者理解)]をすることが必要である。さらに、その道徳的価値を自分とのかかわりでとらえていくこと(自己理解)、人間としての生き方についての自覚を深めることが重要であると考えている。それらの理解は、道徳授業の中で「価値」や「他者」そして「自己」それぞれがかかわりながら補充し、深化し、統合していかなければならないと捉えている。

このような道徳授業を通して培われた子どもたちの道徳的実践力が基盤となり、道徳的行為や道徳的習慣といった道徳的実践ができるようになっていくのである。また、道徳的実践を繰り返すことによって道徳的実践力がさらに強化されることも考え、体験活動などの多様な経験の振り返りや、友だち、家族、地域の人々や自然とのかかわりをみつめることで、自分自身をみつめなおし、多様な価値観を共有していくことが、自己の道徳性をさらに高めていくことにつながると考えた。このような取り組みを通して子どもたち一人一人が「きらり輝く心」(自分を大切にすることや態度、人を大切にすることや態度、ものを大切にすることや態度、自然や生命を大切にすることや態度)を育てていくことにつながると考えている。

昨年度までの校内研修では、道徳教育の推進体制づくり、心を耕す道徳授業づくり、より確かで内面から行動できる道徳的実践の指導のあり方、研究の普及を中心に取り組みを進めてきた。推進体制については、校長の方針のもと、月1回の研究企画委員会を軸に、授業改善・学力向上と児童理解・実践活動の両研究プロジェクトチームや、低・中・高学年ブロック、各学年別部会等のグループ等、それぞれの機能を活用しながら、全教職員の参画により、道徳授業の質的改善と道徳的実践の指導の充実に向けて実践的に研究を進めることができた。道徳授業については、道徳推進教師を中心とした伝達講習や教具教材づくり、週一時間の道徳授業づくりや研究授業、西部教育事務所の指導主事訪問等を通して、指導者一人ひとりの授業力向上につながってきた。さらに、県道徳教育研究大会の実践提案、定期的な公開授業研究会を開催し、研究成果の普及も少しずつ進めてきた。道徳的実践については、重点項目を「元気なあいさつ・安全な行動・学校を美しく」と設定し、児童理解・実践活動プロジェクトチームを中心に、児童会や各委員会の活動と連動させながら指導を進めてきた。

今年度は、これまでの研究実践を生かしつつ、それぞれの取り組みの質を高めていきたいと考えている。

まず、道徳教育指導体制を一層強化するために、道徳教育推進教師の計画的で創造的な指導性の発揮、研究

企画委員会のメンバーを核とした各担当及び両プロジェクトチームによる焦点化された研究推進が必要である。これまでの指導及び研究実践上の課題を明確にし、その解決方を具体的に検討し、全職員の能力・特性を生かして指導の充実を図っていく。

道徳授業をより一層充実させるため、昨年度研修を深めた「発達段階を踏まえた道徳授業」「価値理解・他者理解・自己理解を促す道徳授業」を追求していきたい。そのために、ねらい、主題設定、研究主題との関連がしっかりと研究構想され、表現された学習指導案を作成すること、また、資料分析、発問、指導過程の研究を深めるとともに、児童の表現（言語）活動を意識して授業を構成していくことなど、授業力・指導力をさらに高めるための研修を進めていきたいと考えている。

道徳的实践については、児童会・委員会活動や学級活動等特別活動とも連動し、より質実な姿を求め、指導を強化していく。特に道徳教育と学級活動の関連について研修を進めていく必要がある。

このように道徳教育を本校の教育の中心に据え、「徳育・知育・体育」のバランスのとれた「豊かでかしこくたくましい」児童を育成することが本校の教育活動の目指すところである。

「学力」については、教職員の共通理解のもと、教科における「基礎的な知識・技能の習得」を本校の目指す「確かな学力」とし、これに「知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力」と「学習意欲」を加えたものを、本校において育てたい「豊かな学力」と捉え、その形成を目指して、授業づくりや学級経営を進めてきた。その中で、授業改善・学力向上プロジェクトチームからは、授業力の向上や学力の向上に向けた学校ぐるみの取り組み方策、児童理解・実践活動プロジェクトチームからは、子どもの良さをみつめ育てる視点、集団づくりの視点に立った教育活動、校内支援委員会からは、個別な支援を必要とする児童への対応のあり方を企画・提案しながら、それぞれのチームが独自性をもって具体的な取り組み方策を提示し、全教職員が一致協力して実践してきた。

また、これらの取り組みの成果としては、昨年度の2～6年生の標準学力調査では、国語科、算数科の学校平均として、全観点において期待正答率を上回ることができた。国語科においては、昨年度よりさらに上昇し、目標とする期待正答率比110に近づくとともに、算数科については、すべての観点を目標を超える結果（114）が達成できた。しかし、国語・算数ともに活用の学力は（特に高学年において）十分な結果が得られず課題が残った。国語科の学力が向上しているのは嬉しい結果であるが、言語能力の弱さは本校の課題であり、なお一層研究と実践を深め、他教科他領域も含め思考力・判断力を伴った表現力の育成に努めていかなければならない。

これらの取り組みを通して、全教職員が一丸となって研究主題に迫り、本校児童の小学校段階における豊かな自己形成を果たしていきたいと考えている。

### 3. 研究の内容

#### (1) 道徳教育推進に関わる内容

##### ①道徳教育の全体計画及び道徳の時間の年間指導計画等の改善と充実

- ・道徳教育全体計画の充実
- ・道徳の時間の年間指導計画の改善と充実
- ・道徳教育に関する統合指導計画の改善と充実
- ・各教科・領域等で行う道徳教育の改善と充実

##### ②道徳の時間の質的改善と充実（道徳授業力の向上）

- ・道徳の時間の授業研究
- ・授業評価表及び授業力診断シートの活用

##### ③道徳的実践の場と指導の充実

- ・生活指導、生徒指導
- ・児童会活動
- ・学級活動
- ・縦割り班活動
- ・委員会活動
- ・学校行事
- ・体験活動
- ・学校美化活動 等

##### ④児童の道徳性の研究（意識調査等をもとにして）

- ・「道徳授業アンケート」の実施、分析
- ・児童理解と仲間づくりに向けた「児童生徒の意識等調査」の実施、分析

#### ⑤家庭・地域と連携した道徳教育の推進

- ・道徳教育（「心きらり」）参観日の実施
- ・「いきいきカード」の活用
- ・PTA及び開かれた学校づくり推進委員会等との連携
- ・学校・学級通信等の充実

#### (2) 学力向上及び児童理解に関わる内容

- ①学校ぐるみの基礎学力の定着と学力の向上等の充実
- ②個別の支援を必要とする児童への対応のあり方

## 4. めざす児童像

### ①確かな学力・学習習慣と豊かに学ぶ力をもつ子ども

聞く・話す・読む・書く・計算するといった基礎基本を身につけ、それをもとに自らが主体的に学ぼうとする態度を養っていくことが大切である。学びの主体である子どもが、受け身の姿勢で学習するのではなく、自ら考え、問題や課題と向き合い、粘り強く解決していこうとする態度の育成こそ「生きる力」の育成につながっていく。子どもに確かな学力と豊かに学ぶ力を保障するためには、自ら主体的に学んでいこうとする意欲や態度を引き出す楽しい授業づくり、わかりできる授業づくりをめざしていかなくてはならない。

### ②相手の思いがわかる子ども

ふだんの生活やさまざまな活動を通して、なかまとつながり合える人間関係をつくっていくことが大切である。そのためには、なかまの立場や生活を知り、相手の思いに気づき、お互いのちがいを認め合っていくことが必要である。ちがいがあるから楽しい、ちがいがあるから豊かになれるという価値観を身につけさせたい。その中で、自分自身が大切ななかまの一員であることを実感し、助け合いや思いやりの態度が育ち、ともに生きようとする連帯感が生まれてくると思われる。

### ③ねばり強く、最後までやりぬく子ども

子どもたちは、生活の中で、様々な問題に出会い、それを解決しながら成長していく。そして、自分に対する課題や目標の達成に向けて、日々努力しながら生活をしていくことが大切である。そのためには、困難に耐える心とたくましい体力を培っていく必要がある。苦手なことや苦しいことを避けたりせず、どんな困難にぶつかっても自分の力で立ち向かい、最後までする根気強く努力できる子どもを育てていきたい。

### ④自ら考え、行動できる子ども

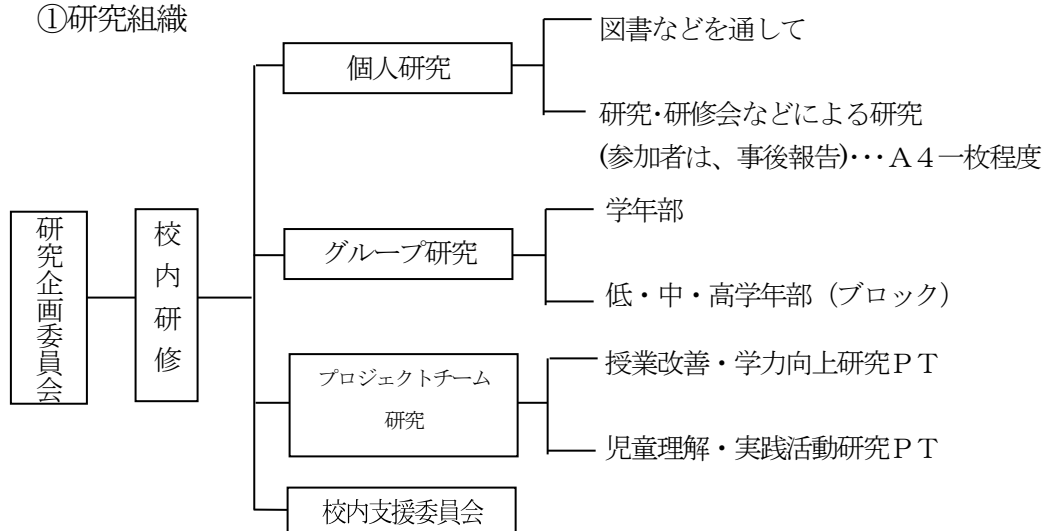
学習の場面や友達との関係の中で、ある課題に直面したとき、子どもたちは、何が問題であるかを感じ、既習事項や体験を活用して、その状況に応じた解決方法を見いだしていかなければならない。そして、その学びの過程の中で、さらに自分で新たな課題を見だし、その解決に向けて見通しを持ち、主体的に行動していくことが、将来にわたって大切なことであると考えられる。日々の授業の中で、問題解決的な学習や体験的な活動をさらに充実し、子ども一人ひとりの思いや願いを取り入れた学習活動を工夫することにより、自ら考え、進んで行動できる力を持った子どもを育てていきたい。

### ⑤健康で生命を大切にできる子ども

子どもたちが健やかに成長していくためには、まず適度な運動、バランスのとれた食事、十分な休養や睡眠など、心と体の健康の基礎となる基本的な生活習慣を身につけることが大切である。その上で、自分を見つめ大切にできる心や他者を思いやる心、自他の生命を尊重する心や協力し合う心など、心身ともに健康で、豊かな心を育てていくことも必要である。自分を取り巻く様々な人や物、自然や社会と豊かに関わり、生命の大切さや素晴らしさを感じ取れるような学習や体験活動を充実することで、心身ともに健やかな子どもを育てていきたい。

## 5. 研究の組織と運営

### ①研究組織



\*企画委員会・・・第1月曜日の16:00～

校長、教頭、教務、研究、総括主任（職員会の内容により随時参加要請を行う。）

\*研究企画委員会・・・第2月曜日の16:00～

校長、教頭、教務、研究（道徳）、各研究PTリーダー（校内研究の内容により随時参加要請を行う。）

\*校内支援委員会・・・第3木曜日の16:00～

教頭、特別支援教育コーディネーター、特別支援学級担任、養護教諭

（場合によっては、該当児童の学級担任にも参加してもらう。）

特別な支援を必要とする児童の実態把握と支援体制

### ②運営

i. 研究日・・・毎週水曜日（14:45～16:45）

毎月第1週…職員会・児童の実態報告

第2・4週…主題にかかわる研究、授業研究

第3週…全体会・グループ研究・研究PT

\*各PT、各部会、学年部会は適宜行う。

第2週から第4週までの計画  
については入れ替わりあり

ii. 全校研

全員が学習指導案を書き、授業を行い、授業検討をする。

\*学級担任は5、6月に学年ブロック研究を通して、道徳研究授業を行う。

\*7年部会教員は、各教科・道徳のいずれかの教科・領域で公開授業を行う。

iii. なかよし学級の学級公開は、児童の実態に合わせて実施する。

iv. 授業評価表を活用し、授業改善に役立てる。

v. 7年の教員は、3ブロックに分かれる。

vi. 学級の実態報告は、1学期のうちに全学級が行う。（学級経営案をもとに）

③研究授業について

研究授業	5/2	5/9	5/24	6/6	6/13	<b>6/19</b>	6/27	<b>9/10</b>
	村上 (低)	畑中 (高)	倉内 (中)	藤近 (低)	竹中 (中)	<b>小谷 (高)</b>	岡田 (低)	<b>木下 (中)</b>
公開授業		/			/	<b>1/9</b>	<b>1/16</b>	<b>1/23</b>
		(なかよし2)			(なかよし1)	(7年)	(7年)	(7年)

※太字は、公開授業研究会（四万十市近隣市町村立学校への公開案内）とする。

④研究プロジェクトチーム（◎はリーダー）

	授業改善・学力向上PT	児童理解・実践活動PT
研究目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい道徳授業を目指して授業研究を進める。</li> <li>・子どもの意欲をひきだし、わかる楽しさを体得させる授業を構成する。</li> <li>・基礎学力の定着と学力の向上を目指す取り組みを学校ぐるみで推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳授業と各教育活動を連動させながら、道徳的実践の充実を目指して、学校ぐるみの重点化と総合的な推進を図る。</li> <li>・人権学習を基盤としながら、お互いの良さを認め合い、支え合えるなかまづくりを目指す。</li> </ul>
重点課題	<p>(1) 授業力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳授業の研究</li> <li>・活用力をつける授業研究 (算数科・国語科を中心に)</li> <li>・授業評価表の活用</li> <li>・少人数指導とTT学習</li> <li>・授業の中での関わり方</li> </ul> <p>(2) 基礎学力の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力調査の分析と活用</li> <li>・個人カルテ作成</li> <li>・みなみタイムの充実（算数・国語）</li> <li>・基礎学力タイムの活用 (計算力の向上、漢字の定着)</li> </ul> <p>(3) 家庭学習の習慣化と充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習アンケートの実施と分析</li> <li>・自主学習の達人コーナーの実施</li> <li>・なかよしタイムの実施 (縦割り班による宿題タイム)</li> </ul>	<p>(1) きらりカード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校（掲示と給食放送）</li> <li>・各学級</li> </ul> <p>(2) 発達障害児・者理解教育</p> <p>(3) 平和集会（夏休み登校日）の計画</p> <p>(4) 人材ピックアップ表の活用</p> <p>(5) QU検査・グループエンカウンター</p> <p>(6) 一人ひとりを大切にする学級づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの実態把握</li> </ul> <p>(7) 道徳的実践の重点化と総合的な推進</p> <p>&lt;重点目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校を美しくできる子ども</li> <li>・元気なあいさつができる子ども</li> <li>・安全な行動ができる子ども</li> </ul> <p>&lt;主な推進内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事 ・体験活動</li> <li>・児童会・委員会活動等</li> </ul>
構成員	◎竹中 岡田 村上 谷吉 倉内 畑中 吉本 徳弘 宗崎	◎田畑 木下 西村 藤近 小谷 河渕 吉川 則

⑤部会…体育朝会、音楽朝会を計画・実施と情報教育推進のための活動（◎は部長）

体育部	◎畑中	小谷	藤近	宗崎	木下	吉川
音楽部	◎田畑	竹中	倉内	岡田	村上	徳弘
情報部	◎谷吉	西村	河渕	則	吉本	

## 6. 授業研究の進め方

### （1）授業研究について

授業（学習展開）研究にあたっては、授業の質的充実をめざして、主題設定のねらいや研究の視点に即して、研究実践をしていく。また、めざす児童像を常に意識し、子どもたちの「生きる力」として身につけていくよう実践していく。

#### 《道徳授業研究の視点》

- ・ 本時の目標の達成
- ・ 指導目標や指導内容の視点、資料の特性に基づいた資料分析
- ・ 発問の工夫と指導過程の工夫
- ・ 価値理解・他者理解・自己理解を促す工夫

#### 《教科等授業研究の視点》

- ・ 指導内容、指導目標の分析
- ・ 発問や指導方法、指導過程の工夫
- ・ 児童理解や関わりづくりの配慮

- \* 研究授業だけでなく、日常の授業を工夫・改善していくために、それぞれに視点をあてた学習を展開していくよう取り組んでいく。
- \* 校内研修の中で日々の実践例を紹介しあい、事例研究を行っていきたい。
- \* 道徳授業については、上の研究の視点をもとに、道徳授業の特質に応じた授業研究の視点をさらに追究していく。

#### 授業研究実施にあたっての留意事項

- ① 研究授業では、学習展開のあり方など事前研究をブロックで行う。発問や留意点、板書計画など、授業者を中心にブロックで十分協議して学習指導案を作る。
- ② 指導者は、授業日の2日前には学習指導案などの資料を配布し、参観者の事前研究に備える。
- ③ 研究授業を行った後で、授業研究の視点や授業参観の視点をふまえた研究協議を行う。
- ④ 研究授業の研究協議の内容はブロックで記録しておく。

- ・ 年度当初に、全教職員で、授業研究の進め方や授業参観の視点について共通理解を図る。
- ・ 学校としての学習指導案の形式について検討・確認する。
- ・ 授業評価表を活用し、児童の評価や感想を授業検討の中で生かす。